

自治体ナッジ・ユニット図鑑

VERSION 1.0.0

2023/12/13

はじめに

近年、自治体ではナッジを推進するチーム

「自治体ナッジ・ユニット」
が増えています。

ここでは、自治体ナッジ・ユニットが、ナッジをどのように普及・実践しているのか、そして、ナッジを切り口として、政策や組織をどのように良くしようとしているのか、全22チームの協働により、熱意と個性あふれる取り組みを図鑑としてまとめました。

この図鑑が、ナッジを実践しようと考えている方々や、これからチームをつくろうとしている方々、今の取り組みをもっと良くしたいと思っている方々のヒントや一歩踏み出す後押しになれば幸いです。

<チーム数の推移>

2019.12: 4 → 2020.12: 6 →
2021.12: 10 → 2022.12: 15 →

2023.12: **22**

【省庁・民間ナッジ・ユニット】

日本版ナッジ・ユニット（BEST）事務局：環境省

よんなな防災会ナッジユニット

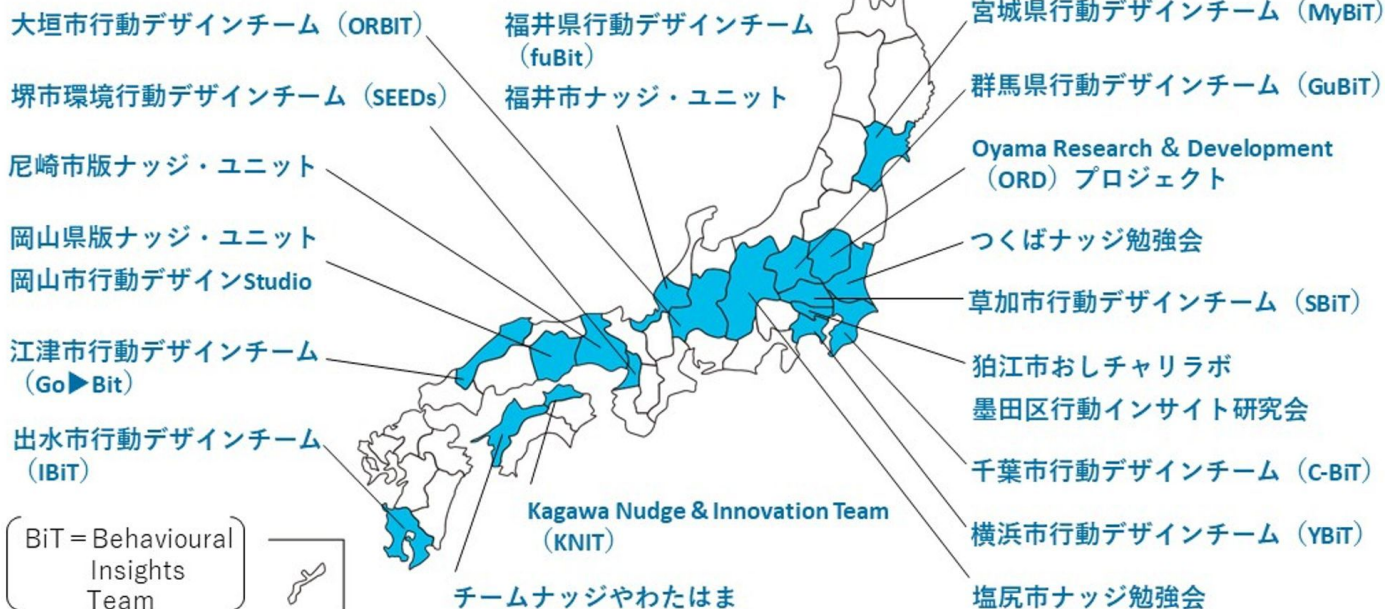
Murc Experimental and behavioraL Insights Team（MERIT）

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

OZMA Nudge Social Design Unit 株式会社オズマピーアール

自治体ナッジ・ユニット

22 チーム



図鑑の読み方

1 チーム名。()内は略称

2 チームのロゴマーク又は 自治体の紋章

3 チームが設置されている又は 主に活動している自治体

4 形態の区分

公式

...自治体の特定部署が公式的に
取り組む形態

有志

...有志の職員が主に業務時間外
の活動として取り組む形態

ハイブリッド

...事務局の部署が他部署からも
メンバーを公募する、又は、
有志職員により始まった活動
が公式化された形態

(参考)高木 佑介、山中 慶子、宇山 生朗、
佐々木 周作「地方自治体におけるナッジ活用
の促進要因と課題の整理ーナッジ・ユニット
の体制構築の観点からー」

5 ホームページや取組事例の
詳細が掲載されたウェブサイト

1

北海道行動デザインチーム (HoBiT)

自治体	北海道	3	設立	2020.3	メンバー	10人	形態	ハイブリッド	4
-----	-----	---	----	--------	------	-----	----	--------	---

目的/ 概要	「ナッジ」と「デザイン思考」のソリューションを道庁及び道内市町村等に浸透させることで、道内における公共サービスの成果向上と定量化を推進する。
-----------	--

【最近の取り組み、特徴】

■チーム合宿の開催

チーム理念やアクション
プランなど、1泊2日で
6つのテーマを議論

HoBiTの活動で「道民の
人生により良い選択を」
とゴールを掲げ、チーム
体制の強化のためにNPO
法人化の準備中



■2023年の取組

今年は活動範囲が拡大し、
道内自治体、高校、大学、
民間などで研修や伴走支
援を実施。

庁内においても「ナッジ
隊」として公式の立場を
確立したほか、HoBiTゼ
ミやHoBiT通信など情報
発信にも取り組む。

(主な支援プロジェクト)

- ① 献血行動の促進策×2(大学)
- ② 運動無関心層の健康的な生活習慣への
行動変容(自治体、大学)
- ③ 地域高齢者の社会活動維持方策(大学)
- ④ 車椅子利用者用駐車スペースの不適正
利用防止策(道)
- ⑤ 電話特殊詐欺被害の防止(道)
- ⑥ MaaS事業へのアドバイス(民間)
- ⑦ 美瑛町オーバートゥーリズム対策(国ほか)

HP等 <https://hobitofficial.wixsite.com/info>

5

2



北海道行動デザインチーム(HoBiT)



自治体	北海道	設立	2020.3	メンバー	10人	形態	ハイブリッド
-----	-----	----	--------	------	-----	----	--------

目的/ 概要	「ナッジ」と「デザイン思考」のソリューションを道庁及び道内市町村等に浸透させることで、道内における公共サービスの成果向上と定量化を推進する。
-----------	--

【最近の取り組み、特徴】

■チーム合宿の開催

チーム理念やアクションプランなど、1泊2日で6つのテーマを議論

HoBiTの活動で「道民の人生により良い選択を」とゴールを掲げ、チーム体制の強化のためにNPO法人化の準備中



■2023年の取組

今年は活動範囲が拡大し、道内自治体、高校、大学、民間などで研修や伴走支援を実施。

庁内においても「ナッジ隊」として公式の立場を確立したほか、HoBiTゼミやHoBiT通信など情報発信にも取り組む。

〈主な支援プロジェクト〉

- ① 献血行動の促進策×2(大学)
- ② 運動無関心層の健康的な生活習慣への行動変容(自治体 大学)
- ③ 地域高齢者の社会活動維持方策(大学)
- ④ 車椅子使用者用駐車スペースの不適正利用防止策(道)
- ⑤ 電話特殊詐欺被害の防止(道)
- ⑥ MaaS事業へのアドバイス(民間)
- ⑦ 美瑛町オーバーツーリズム対策(国ほか)

HP等

<https://hobitofficial.wixsite.com/info>

宮城県行動デザインチーム(MyBiT)



自治体	宮城県	設立	2022.6	メンバー	26人(派遣職員4人)	形態	ハイブリッド
-----	-----	----	--------	------	-------------	----	--------

目的/ 概要	多様な組織と連携しながら、ナッジ・デザイン思考・EBPMの実践や普及に取り組むチーム(プログラミングやAIを得意とする「デジタルカイゼン隊」と共に、庁内複業により運営。月15時間を上限に公募職員が業務として活動)
-----------	--

【最近の取り組み、特徴】

2023年度取り組み状況

チーム方針の検討



メンバーのスキルアップ

- ・インタビュー勉強会
- ・アイデア出しトレーニング(ブレインライティング)

研修講師・情報発信

- ・がん検診受診率向上研修(石巻保健所、管内市町)
- ・COM-Bモデル+県事例紹介(県・市町村職員 約450人)

実装(10件)

- 例: 釣り禁止区域への侵入防止
- ・Google Mapsの口コミを原因と特定→アカウント取得提案
 - ・トリックアートなど複数検討



※担当課検討中、効果は未検証

多様な組織と連携した優秀政策として全国知事会より表彰!

HP等

全国知事会 令和5年度 優秀政策ページ https://www.nga.gr.jp/bank/kaigi/4_1.html

つくばナッジ勉強会



自治体	茨城県つくば市	設立	2019.12	メンバー	12人	形態	公式
目的/概要	ナッジの事例研究や庁内への普及に取り組むため、市長や当時の政策イノベーション部長等からのトップダウンにより部内の課室長から推薦された職員等で発足。						

【特徴】

ナッジ勉強会の業務は公務の一環

業務時間内にナッジ勉強会の活動を実施し、活動の持続可能性を担保している
勤務時間外の業務に対しては超過勤務手当を支払うことも可能

メンバーが人事異動で部外に異動となった場合でも異動先で活動を継続

異動先の担当業務等でナッジを活用することで庁内へナッジの考え方を浸透させる

【最近の取組】

- ・ナッジ勉強会の開催(月1回)
- ・市民意識調査へのナッジ活用による回収率向上
- ・庁内からのナッジ相談対応(実績 63件 (R5年12件))
- ・庁内ナッジ相談weekの開催(毎年7月頃)
- ・庁内イントラ掲示板でナッジ通信の発行(年6回程度)



シール見本

令和 5 年(2023 年)度つくば市民意識調査

《アンケートご協力のお願い》

つくば市では市民の皆様へ、市の現状やまちづくりの取組に対する満足度、及び市が求める主要な施策に対するご意見をお伺いするために、市民意識調査を実施いたします。
この調査の集計結果は、今後の市政の発展に重要な資料として、つくば市に伝えています。本当に良かった、これからつくば市に住みたい、と思えるまちづくりを、皆様と実現していきたいと考えております。
調査の順数をご理解いただき、本調査にご協力をお願いいたします。

令和5年(2023年)8月

つくば市長 五十嵐 立青



8月31日(木)までに、ご回答をお願いします。

スマホまたはパソコンを持っていますか？



紙の調査票や用紙

調査票に回答を記入し、両封の返信用封筒(切手不要)に入れてポストに投函してください。

◆調査票のご記入にあたって◆

・本調査票は、2年に一度、住民基本台帳から無作為抽出したつくば市在住の18歳以上の全市民3,000人に対してご協力をお願いするものです。
調査の結果は、あくまでもご本人がご存知ください。それが無難な場合は、ご家族の方がお答えいただくことも可能です。

・調査結果は、広報つくば、市ホームページでご覧いただけます。すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、他の目的には利用いたしません。

・ウェブ調査との重複を防ぐため、調査ごとにIDを設定してありますが、ランダムに付与しており調査対象者を特定できないようにしています。また、重複回答の検出や先着の順にある「パーコーD」は割合変動取入のために無効が使用されるもので、個人を特定するためのものではありません。

《問合せ先》
つくば市政策イノベーション部統計・データ活用推進室
TEL 029-883-1111 (代表) 内線 6281 FAX 029-828-4708

HP等

『環境省のベストナッジ賞コンテスト2021で 大賞を受賞しました』<https://www.city.tsukuba.lg.jp/material/files/group/177/2021NO192.pdf>

『消毒したくなる新型コロナウイルス感染症対策に「ナッジ」理論を取り入れ検証』

https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/seisakuinnovationbutokei_datarikatsuyosuishinshitsu/gyomuunnai/2/1012547.html

Oyama Research & Development(ORD)プロジェクト



自治体	栃木県小山市	設立	2022.10	メンバー	28人	形態	有志
目的/ 概要	地方自治体がその価値を高めていくために、アンテナを高めて積極的に情報収集し、課題の本質を見極め、的確な解決策を探っていく職員の養成・職員間のネットワーク強化が求められており、ナッジも含めて、その一助を担うための政策・業務研究および新たな解決策の開発に向けた情報共有、自己啓発の場を創出することを目的として活動しています。						

【最近の取り組み、特徴】

①内部向け自主勉強会

- 庁内の諸問題について、調査・研究を行う
- 提言する、行動する

②まちの課題を解決する組織を目指す

- まちの課題について、調査・研究を行う
- まちの課題について、行動を起こす
- 解決する

③自主研究を通して、メンバー個々の資質向上と ヨコの連携強化を目指す！

★具体例★ ピザ 🍕 部会の立ち上げ
クラフトビール祭りで、小山市産の野菜を使ったピザを調理する社会実験を行いました。



2023.10～ ナッジの活用研究スタート！

HP等

<https://oyamaord.wixsite.com/home>

群馬県行動デザインチーム(GuBiT)



自治体	群馬県	設立	2022.2	メンバー	?人	形態	有志
-----	-----	----	--------	------	----	----	----

目的/ 概要	人間に沿った施策を企画できる公務員に成長し、もっと公務を楽しむ方法を学ぶための場
-----------	--

【最近の取り組み、特徴】

しごとを楽しむことを目標に、
ナッジやデザイン思考、EBPMを学ぶ場にしたい！



Appendix

行動デザインを巡る庁外の実践

2020 若手職員向け自主勉強会

「Nudge」の理論と実践

講師：YBiTのみなさん

対象：市町村職員、県職員

2022～

尾瀬トイレチップPJ

公益財団法人 特定非営利活動法人
尾瀬保護財団 × Policy Garage

HP等 尾瀬トイレチップPJ <https://note.com/policygarage/n/n9acff1bb632a>

草加市行動デザインチーム(SBiT)



自治体	埼玉県草加市	設立	2023.9	メンバー	2人	形態	有志
-----	--------	----	--------	------	----	----	----

目的/ 概要	チラシ・ポスターの広報物はもちろんのこと、公共空間の環境デザインについても企画。 本市だけでなく、近隣自治体・日本にナッジを普及させるべく活動を開始した。
-----------	--

最近の取り組み

2023.9.15 市町村アカデミーを修了。
2023.9.19 ナッジ理論は、どんな仕事・分野においても必要と考え、SBiTを設立。
2023.10.26 ナッジ通信開始。
2023.11.11 第1回ナッジ勉強会(庁内)実施。
2023.12～ ナッジについて市長レクチャー予定。



チームの特徴

とにかくスピーディーにアクションをする事を念頭に、「頼まれごと
は試されごと」として、相談を受けたものは一緒に企画・実行してい
る。活動が伝わり、市民からもプロジェクト参画依頼を受ける。メン
バーが広報課所属という特性を活かし、業務内で庁内へ浸透させている。



HP等	-
-----	---

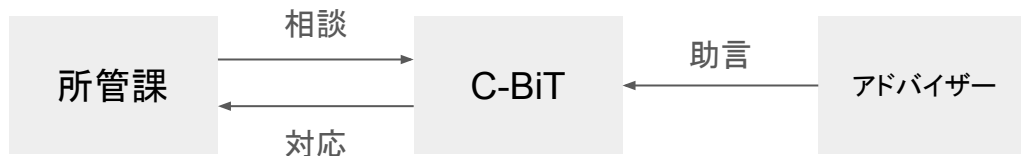
千葉市行動デザインチーム(C-BiT)



自治体	千葉県千葉市	設立	2023.5	メンバー	14人	形態	ハイブリッド
-----	--------	----	--------	------	-----	----	--------

目的/概要 ナッジを活用した改善・改革の推進のために発足。庁内有志＋事務局＋アドバイザーのハイブリッド型。庁内からのナッジ活用相談に対応したり、(これから)普及啓発を行ったりします！

【特徴】



有志による
相談対応は
業務時間内に
行っています！

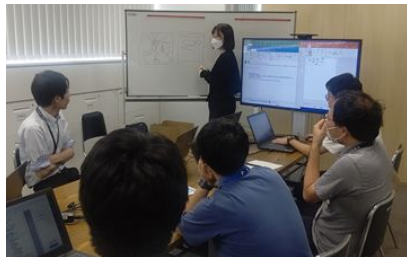
相談対応の様子↓



【最近の取り組み】

①	保健福祉系	検診関係	対応中！
②	環境系	ごみ・リサイクル関係	対応中！
③	デジタル系	WEBサービス関係	実施待ち！

庁内からの
ナッジ活用相談
対応状況
(抜粋)



HP等 -

墨田区行動インサイト研究会



自治体	東京都墨田区	設立	2023.3	メンバー	9人	形態	有志
-----	--------	----	--------	------	----	----	----

目的/ 概要	行政や民間のあらゆる場で課題解決のツールとして注目されている「行動インサイト」。この理論を学び、現場での実践を見据えた研究を重ね、政策に反映できるアイデアを創出すること
-----------	--

【特徴】

完全有志のメンバーによる活動
勤務時間外（17:30から1時間程度）に庁内会議室又は
オンラインにて研究会を開催

【最近の取り組み】

- ・定例研究会（月2回）
- ・全庁掲示板で活動レポート報告（月1回程度）
- ・庁内向けナッジ勉強会（2023.9）
- ・庁内部署との連携取組

→区民の省エネ行動を促すナッジ案の検討に、研究会
として参画

行動インサイト研究会活動レポート
vol.2

日時 令和5年5月16日 17:30～18:30
場所 22会議室

Contents

- 01 前回のおさらい
- 02 8つのバイアスと4つのナッジ
- 03 他自治体の事例

HP等	-
-----	---

狛江市おしチャリラボ



自治体	東京都狛江市	設立	2023.5	メンバー	16人	形態	ハイブリッド
-----	--------	----	--------	------	-----	----	--------

目的/ 概要	自転車の押し歩き(おしチャリ)を推進するための市職員 ×地域のデザイナーによる「南北通路おしチャリナッジ」のプロジェクトチーム。プロジェクト終了に伴い、次のナッジ推進体制を準備中
-----------	---

【最近の取り組み、特徴】

市職員×地域のデザイナーとの連携による「おしチャリラボ」を組成
「南北通路おしチャリナッジ」の取組みは 2023年5月～10月に実施
「ベストナッジ賞コンテスト 2023 オーディエンス賞」を受賞

「おしチャリラボ」はいったん解散し、市職員のための構成による
自主研究グループの結成及び庁内ナッジ推進体制を現在準備中



【おしチャリの効果検証中の様子】

HP等

<https://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/41,128229,312,2002.html>

横浜市行動デザインチーム(YBiT)

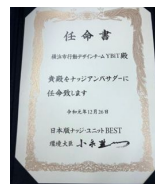


自治体	神奈川県横浜市	設立	2019.2	メンバー	15人	形態	有志
-----	---------	----	--------	------	-----	----	----

目的/概要 横浜市職員有志中心に設立。市民や社会にとって真に効果的な行政サービスの提供をミッションに、やりがいやワクワク感、心理的安全性を大切にしながら活動しています。

【特徴】

- ・OECD公認。日本の自治体初のナッジ・ユニット。
- ・BESTからナッジアンバサダーに任命される。
- ・EAST®翻訳、普及体制についてRIETI論文執筆。



PolicyGarageの研究会も共催。
2023年9月は
3年ぶりのリアル
開催@横浜



【最近の取組】

- ・「仲間を増やし、小さく作り続ける」をテーマに活動を継続&拡大



YBiTランチタイムゼミ
毎月第3火曜日昼休み



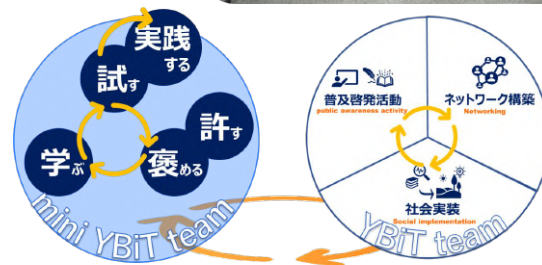
研修講師
R4から市人材育成研修にナッジ研修追加！



YBiTナッジ通信
毎月1回発行（庁内イントラで発信）



相談支援
（庁内イントラで随時募集）



- ・職員採用イベントとして、学生向け「行動経済学『ナッジ』を学ぶワークショップ」を1/27開催

HP等

ホームページ <https://ybit.jp/>

日本の地方自治体における政策ナッジの実装：横浜市行動デザインチーム（YBiT）の事例に基づく体制構築と普及戦略に関する提案
<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/20100008.html>

福井県行動デザインチーム(fuBit)



自治体	福井県	設立	2022.12	メンバー	約40人	形態	ハイブリッド
-----	-----	----	---------	------	------	----	--------

目的/ 概要	外部専門家や団体と協働しながら、ナッジを政策立案に取り入れるプロジェクト[fuBit(フウビット)]を進行中。人に寄り添った施策の検討・実践を目指しています。
-----------	--

【最近の取り組み、特徴】

職員向け研修の実施

- ナッジの基本や活用事例、実践方法を学んだ上で、実際にナッジにトライ。
- 県職員のほか、県内の市町職員も参加可能。
- NPO法人PolicyGarageと連携。



各所属でのナッジの実践（研修で取扱った事例を実践）

- テーマ：統計グラフ福井県コンクールの応募促進
- ナッジ：チラシ表面にみんなで丸シールを貼ってつくるグラフエリアを設置（**Easy／Attractive／Social**）
チラシと一緒に丸シールを郵送（**Attractive**）
統計グラフの作り方を紹介したYouTube動画を掲載（**Easy／Attractive**）
- 効果：応募者数が前年度に比べ、約3倍に増加



◀グラフエリアを設置



◀丸シールをあわせて郵送

HP等

-

福井市ナッジ・ユニット



自治体	福井県福井市	設立	2023.4	メンバー	7人	形態	ハイブリッド
目的/概要	ナッジを政策に取り入れることで、市民サービスの向上や行政運営の効率化を図ることを目指す。各所属から寄せられたナッジ相談を支援。メンバー内での月例研究会(テキスト輪読等)も開催。						

【最近の取り組み、特徴】

情報発信

➡庁内イントラネットに「ナッジ通信」を掲載

相談支援

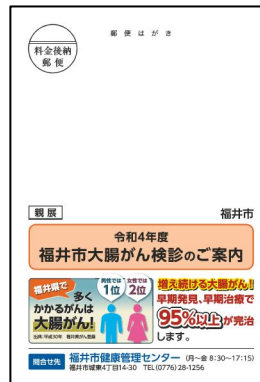
➡所属から寄せられた相談10件を支援(R5.11月末時点)

人材育成

➡職員研修会の開催

ナッジ活用の一例

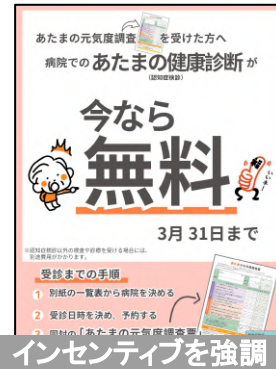
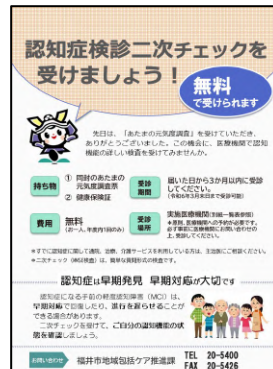
●大腸がん検診の受診率向上ナッジ



期限を強調
(タイムプレッシャー)

下記の2事例についてはランダム化比較試験により効果検証中

●認知症の早期発見ナッジ



インセンティブを強調
(損失回避)

HP等

<https://www.city.fukui.lg.jp/sisei/plan/policy/p026413.html>

塩尻市ナッジ勉強会



自治体	長野県塩尻市	設立	2022.9	メンバー	52人	形態	ハイブリッド
目的/ 概要	基礎自治体が、市民のためにナッジ理論を生かす勉強会。若手職員を中心に、個人ワークを共有して学び合うスタイル。リアル勉強会は年に数回で、随時チャットで共有、報告等。						

【最近の取組】

近年力を入れてきた税務広報にナッジを活用したことで、令和5年度総務省特別表彰＆第18回マニフェスト大賞優秀賞を受賞 →



評価されたナッジ

- ①「損失回避性」「アンカリング効果」等で数字で分かる成果
- ② ゲーミフィケーションの活用(子ども向けボードゲーム制作)



HP等

総務省特別表彰＆第18回マニフェスト大賞優秀賞特設サイト <https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/3/34814.html>

堺市環境行動デザインチーム(SEEDs)



自治体	大阪府堺市	設立	2021.8	メンバー	15人	形態	ハイブリッド
目的/ 概要	市の環境施策へのナッジ活用促進や庁内外へのナッジの波及、EBPM・行動デザイン普及への貢献を目的に活動する、環境局職員有志によって構成された局内プロジェクトチーム						

【最近の取り組み、特徴】

- ・環境分野に特化したナッジ・ユニットとして、CO₂削減やごみ減量などにつながるナッジ活用事例を創出



市役所内のペーパーレス推進



コンビニのカトラリー配布削減



職員の階段利用促進

- ・高校などのナッジ活用を支援し、ペットボトルの分別促進をテーマとした大阪府立泉北高校の取組が、令和5年度ベストナッジ賞(高等学校部門)を受賞



HP等

ホームページ <https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/gomi/torikumi/seeds/index.html>
「ベストナッジ賞」コンテスト2023(高等学校部門)結果 https://www.env.go.jp/press/press_02397.html

大垣市行動デザインチーム(ORBIT)

自治体	岐阜県大垣市	設立	2021.7	メンバー	10人	形態	有志
目的/概要	ナッジに興味を持った若手～中堅職員が有志で集う勉強会。各課と連携したナッジの活用による事業成果の達成と、ナッジの知識を共有し市役所内の共通言語とすることを目的に活動中。						

【最近の取り組み、特徴】

〈各課との取り組み〉

各課にある既存のチラシにナッジを取り入れ提案

- ・課税課 ・住宅課 ・国保医療課 ・公園みどり課 ・建築課
- ・都市計画課 ・都市プロモーション室 ・職員組合 など

〈ナッジ共有の実績〉

2022.5・2023.5 取り組みを評価され人事課からの依頼を受けて2年目職員を対象とした研修でナッジのワークショップを行った。PG研究会や紹介いただいた書籍を参考に座学とグループワークを実施、好評を得た。

2023.1 全職員向けにセミナーを開催。ナッジを活用した案内チラシを作成し参加者50名を集めた。係長級以上の管理職に対して参加を促すことで、若手職員がナッジ提案をしやすい環境づくりを目指した。



HP等

YouTube <https://youtu.be/iqnR3Dgh5f8?si=pPr8QiXsUBjbEy6Z>

尼崎市版ナッジユニット

自治体	兵庫県尼崎市	設立	2019.10	メンバー	10人	形態	有志
目的/ 概要	ナッジの庁内への推進、個々のメンバーの実践 / 全国で2番目の自治体版ナッジユニットとして庁内外で活動中。業務外での商店街での実践、研修講師、庁内からの相談対応など。						

【最近の取り組み、特徴】

全国で2番目の自治体版ナッジユニットとして 2019年に活動開始。メンバーが知見を持ち寄りつつ、個人での実践を行っている。庁内からの相談にも対応しており、過去に「自転車マナー啓発ポスターデザイン」「地下道での交通マナー対策」等に対応し、実装された取組もある。

尼崎市ではその地域性もあり、「おもしろいかどうか」を重視して取り組んでいる。メンバーが個々の関心事や個人活動の中で活用することも多く、楽しみながらできる範囲で進めている。(なので効果検証は割愛することが多く、そこが弱みでもあります)これからも「面白がってできているか」を最優先に、取り組んでいきます！

不法投棄対策看板(ナッジ前 → ナッジ後)でゴミ激減



商店街ソーシャルディスタンス 自転車マナー啓発看板デザイン



HP等

2021.10.22 尼崎経済新聞「『尼崎版ナッジ・ユニット』設置から周年」 <https://amagasaki.keizai.biz/headline/1156/>
都市とガバナンス第39号「実践から始める行政ナッジー 尼崎版ナッジユニット」 <https://www.toshi.or.jp/publication/18655/>

江津市行動デザインチーム (Go▶Bit)

現在
作成中…

自治体	島根県江津市	設立	2023.10	メンバー	10人	形態	ハイブリッド
-----	--------	----	---------	------	-----	----	--------

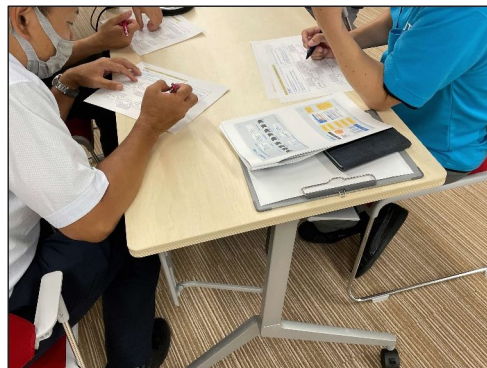
目的/概要 庁内有志が構成員のワーキンググループとして発足。庁内のナッジ相談に対応することで、課題解決とともに職員へのナッジの浸透を目指す。

【最近の取り組み、特徴】

設立したばかり

ナッジ勉強会の開催

「特定保健指導」の受診率向上のためのナッジ等を検討中

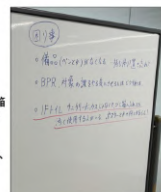


2. 会議内容

今回は各メンバーの所属課での困りごとを出し、その中から最初の課題を決めた。

出た課題

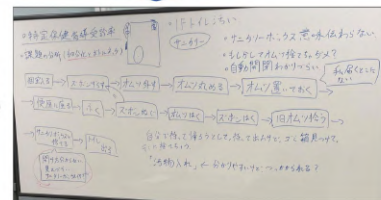
- ・持ち帰るのか別の場所に置いてきてしまうのか、備品（ペン等）がよくなくなる。
- ・BPRのヒアリングを行っているが、結局対象課が乗り気でない。やる気を出させるにはどうすればいいか。
- ・1フロアのサンタリーボックスを使わず、手洗い場下の普通のゴミ箱におむつ等を捨てる人がある。また、個室トイレを意図的に汚す人が稀にいる。
- ・健診で結果がよくなかった人に対し「特定保健指導」を動いているが、受診率がよくないのを向上させたい（チラシで案内している）。



通のゴミ箱におむつ
にしている。

今回はこれに決定！

行動の細分化
&
ボトルネックの
特定



HP等

-

岡山県版ナッジ・ユニット



自治体	岡山県	設立	2019.11	メンバー	5人	形態	公式
-----	-----	----	---------	------	----	----	----

目的/概要

岡山県庁政策推進課内に設置されたナッジ・ユニット。
職員研修の開催や、庁内をはじめ県内市町村からのナッジ相談に対応し、ナッジに対する理解の浸透や、施策・事業等へのナッジ活用に取り組む。

【最近の取り組み、特徴】

取組事例紹介

- ・調査用封筒の切替に向けた検証
「大型封筒」から「小型封筒」への切替において、郵便物を認識し、開封してもらえるよう、EASTフレームワークのうち「Attractive」を活用し、黄色小型封筒を採用。回収率を検証した。

2023年度の活動(11月現在)

- ・「現場ですぐ使えるナッジセミナー」
- ・県庁内ナッジ相談 13件(公用車事故防止、職員献血 etc.)
- ・市町村ナッジ相談 5件(検診チラシ、ふるさと納税チラシ etc.)

HP等

-

行動プロセスマップ



- ① 郵送物の中で埋もれてしまうのでは
- ② 調査の重要性が伝わらず開封してもらえないのでは

・非劣性試験により、小型・黄色封筒が大型封筒に劣らないか検証



		大型(角2)	小型・黄色(長3)
コスト	封筒料金	8 円	14 円
	郵便料金	120 円	94 円
回収率		55.4 %	58.2 %

回収率の差に係る95%信頼区間「-1.68%~7.30%」

→小型・黄色は大型に劣らない

→小型・黄色封筒への切替えを検討及び
検証結果を庁内に周知

岡山市行動デザインStudio



自治体	岡山県岡山市	設立	2022.6.30	メンバー	7人+α	形態	有志
-----	--------	----	-----------	------	------	----	----

目的/ 概要

岡山市の職員自主研究活動支援制度を活用した有志のナッジユニット。行動科学を学ぶことで、住民や職員の行動変容を後押しし、業務をより効果的、効率的に行えるようにすると共に、業務へのモチベーションの向上も期待する。

【最近の取り組み、特徴】業務時間外での活動ですが、2年目は若手メンバーも加わり楽しく活動中です。

<2022年度>

- ・ワークショップ「はじめてのナッジ」
「行動デザインをもっと知ろう！」Part1 & Part2
- ・口座振替促進チラシ改善プロジェクト
- ・環境事業課リサイクルボックス貼付シール作成プロジェクト

<2023年度>

- ・ワークショップ「効果検証基礎の基礎」
「PolicyGarage研究会 サテライト会場」
「はじめてのナッジ」
庁内職員向け、市内中高生向け等



口座振替促進チラシ

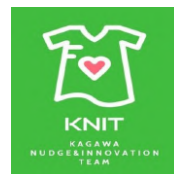


リサイクルボックス

HP等

-

Kagawa Nudge & Innovation Team (KNIT) & TOPICO



自治体	香川県	設立	2020.7.22	メンバー	28人～	形態	KNIT:有志 TOPICO: 公式
概要	Knit(ニット)＝編み出す、結び合わせる。ナッジを活用し、新しいアイデアを編み出し、行政と住民とを結び合わせ、社会に変革をもたらすことを目的として設立。現在、KNITメンバーは各所属先で個々に活動し、ナッジの普及に取り組んでいる。						

最近の取組 ▶「ナッジ」×「デジタル」で、公衆衛生の要「保健所」を DX！

東讃保健所DX推進チーム(TOPICO*)は、2023年9月発足の、デジタル技術の活用により保健所業務のDXを目的とする多職種チーム。KNITの活動を継承しつつ、ナッジ理論に「デジタルツール」、「グラフィックデザイン」、そして「ユーザー体験設計(UXデザイン)」の視点を掛け合わせ、相乗効果による行動デザインで well-beingを導く、次時代のヘルスプロモーションを追求する。

*Tousan PHC Innovation Community with DX(メンバー:保健医療職&事務職 計8人)

図1 | 保健所のウェブサイトにて、EASTの視点や損失回避メッセージを組み込んだ図解を初めて採用。申し込みのハードルを下げることで検査予約をナッジし、肝炎ウイルス検査の受検率増加を図る。合わせて公式YouTubeで検査手順の案内動画も配信予定。図2 | 従来手書き管理だった検査予約業務に「kintone」(サイボウズ社)を県の支援を受け導入。保健所職員自ら設計したノーコードアプリで、マニュアルやFAQを内蔵し、業務の流れに沿って分かりやすく入力可能なフォームを実現。担当者以外の職員でも簡単に対応できるようなデザインで、サービスの標準化・精度向上を見込む。現場だからこそ提案できるEasy & Attractiveな業務ツールで、スラッジ削減、住民・職員双方のwell-being向上を目指す。図3 | kintoneを活用した新システム設計の協議風景。TOPICOでは、多職種の集合知・多様性を活かすため、チームでの価値協創にこだわっている。

図1 | ナッジを活用した図解

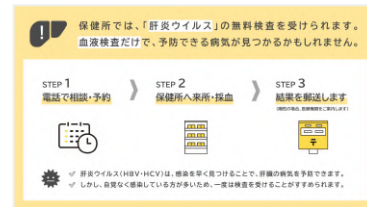


図2 | 業務アプリ画面

Step 2 | 検査の予約日・時刻を決定する。

予約日: 2023/09/01 予約時刻: 10:00

予約状況一覧 (最大10件)

予約日	予約時刻
6	9:00
7	9:00
10	9:00
10	9:00

Step 3 | HIV感染症・梅毒検査について、事前確認事項を説明する。

予約前に、すべて確認・同意を頂くようになっています。LINEオープンチャットからの予約の場合は、すべて確認できたものとみなして、下記チェックしてください。詳しくは検査を受ける場所へ「Step 4」(採血)の欄にも記入をお願いします。

検査の事前確認事項について

- HIV検査の受検者は、感染の心配をたたり、約3ヶ月が経過していること。
- 梅毒検査は、感染の心配をたたり、約1ヶ月が経過していること。
- 検査が不要な場合は、検査結果を説明していただきます。

図3 | TOPICO活動風景



チームナッジやわたはま



自治体	愛媛県八幡浜市	設立	2021.6	メンバー	11人	形態	ハイブリッド
-----	---------	----	--------	------	-----	----	--------

目的/
概要

市民ファーストの考えを基にナッジを用いた事務の改善を行い、顧客(市民)満足度(CS:Customer satisfaction)の向上につなげる。

- ・特徴 3チーム体制で活動中
総括チーム(2人)
検証チーム1(4人)
検証チーム2(5人)



・最近の取り組み

- 2022年 7月 第41回PolicyGarage研究会に登壇
- 2022年10月 若手職員向けスキルアップ学習会を実施
- 2022年12月 ベストナッジ賞出場
- 2023年 8月 新規採用職員向け研修の実施
- 2023年12月 ベストナッジ賞出場×2件

「国土調査用閲覧案内ハガキの文章見直しについて」は優秀賞を受賞！

その他 毎月第2水曜日に全体ミーティングを開催



HP等

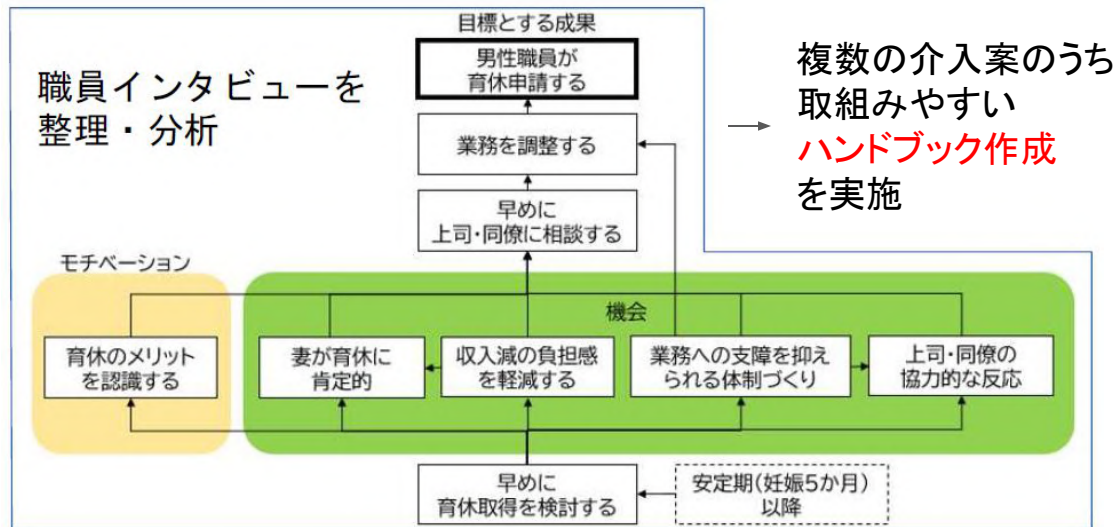
行動経済学会 第17回大会ウェブサイト <http://www.abef.jp/conf/2023/index.html>

出水市行動デザインチーム(IBiT)



自治体	鹿児島県出水市	設立	2021.5	メンバー	11人+α	形態	ハイブリッド
目的/ 概要	1 ナッジの実践 2 庁内へのナッジの普及						

【最近の取り組み、特徴】男性職員の育休取得促進



育休ハンドブック(全12ページ)
庁内電子掲示板で配信

取得率
2022.4～2023.3
50% → 2023.4～2023.11
50%

HP等 -

ナッジに取り組む自治体職員の交流の場 “ナッジのフリマ”

自治体職員以外も歓迎！

ナッジをテーマにしながら、自治体職員同士のネットワーク構築も進んでいます（2023年8月から月末に計4回開催）

2023年11月は、第82回日本公衆衛生学会総会@つくば自由集会「ChatGPTを活用したナッジの可能性」を視聴したメンバーからのレポートの後に、参加者で意見交換を行いました。

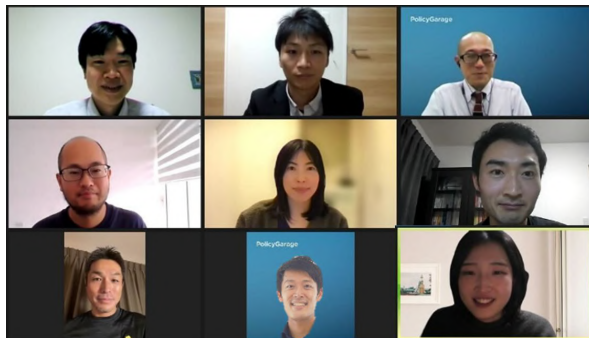


事例1～特定健康診査～

特定健診の受診率を上げるための改善案を、行動経済学やナッジの知見を活用してEASTに沿って考えます。

1. 簡単に (Easy)
 - ・ 封筒デザインのシンプル化：余分な情報を減らし、重要な情報だけを大きく表示することで、受取人がすぐに内容を理解できるようにします。
 - ・ QRコードの追加：封筒にQRコードを追加し、受取人がスマートフォンで簡単に健診の予約や詳細情報を確認できるようにします。
2. 印象的に (Attractive)
 - ・ 色使いの変更：青や緑などの安心感を与える色を基調にし、注目を引く赤や黄色で重要な情報を強調します。
 - ・ 損失回避バイアスを活用：封筒に「早期発見できないリスクを逃してしまうかもしれません」というような文言を入れ、受診を怠るリスクを感じさせます。

Copyright 2023 PolicyGarage 25



学会の内容を参考に、仕事でも便利に使っています！

ChatGPTがEASTフレームワークに沿ってナッジを考えられることにビックリ！

回答をそのままは使えないけど、たたき台として有効活用できそう！

開催の案内メールを希望の方は、次のページの PolicyGarage研究会の案内メールに登録してください！

参考資料:「[ChatGPTの活用とナッジ施策への応用](#)」(自治体ナッジシェア)

おわりに

これまで各チームでは、ナッジを入口として、ウェルビーイングの実現や組織変革、DX、働きがいの向上、市民との協働、職員採用など、様々な取り組みが展開されてきました。ナッジは、「人間らしさ」と、一見それとは対極にある「データ」や「エビデンス」との化学反応を促す触媒となり、様々な可能性を拓いていることが伺えます。そして何より、職員がワクワク感や楽しさを持って取り組めることに、ナッジの大きな魅力があるのではないのでしょうか。さらに近年はPolicyGarageの取り組みを起点としながら、アカデミアとの連携も含め、知見を共有するエコシステムの構築も進められています。これから、ますます多くの自治体と共に、新たな政策の未来に向かって取り組んでいければ幸いです。



<自治体ナッジ・ユニットの取り組みに関する参考資料>

 自治体ナッジシェア <https://nudge-share.jp/>

大阪大学社会経済研究所、行動経済学会、PolicyGarageで運営するナッジの事例共有サイト。
ナッジの基本、実践方法、取組事例に加えて、自治体ナッジ・ユニットの活動レポートも掲載しています。



自治体職員のためのナッジ入門 どうすれば望ましい行動を後押しできるか？

特定非営利活動法人 Policy Garage編
公職研

自治体職員の目線からナッジの実践や普及、
体制構築について解説した書籍です。

PolicyGarage 研究会

毎月第2水曜日の 19:00～
20:30オンライン開催。

自治体ナッジ・ユニットの取組事例や
最新の政策動向を取り上げます。

案内メールの登録は以下の HPから

<https://policygarage.or.jp/>



お問い合わせ: 特定非営利活動法人 Policy Garage info@policygarage.or.jp